

## 郡山都市圏総合都市交通計画協議会（第5回委員会）議事録（要約）

日時：平成20年10月31日（金）14：00～

場所：郡山ビューホテルアネックス4階（花勝見）

### 1. 開会

### 2. あいさつ

郡山都市圏総合都市交通計画協議会会長

### 3. 議事

議事(1)報告確認事項（説明：福島県県中建設事務所企画調査課主任主査）

#### 1)これまでの経緯について

質疑応答

委員 （学識）	・交通量の現況配分等を行っていると思うが、再現性はどの位か。
事務局	・現況の道路網を対象に、現況の交通需要を考慮し検証を行っている。 ・予測モデルについては、更に予測精度を高めるよう現在検討を進めている。
委員 （行政）	・都市構造の表現について、現況では郡山市と小野町が赤い色の線で結ばれているが将来像には表現されていない。 ・赤い線は小野郡山線を示しており、都市圏の幹線として重要だと考えられるが、将来は小野町と田村市を結ぶことだけで課題が解決するとは思えない。
事務局	・都市圏として目指すべき都市構造の考え方として、地域ブロックを設定している。 ・地域ブロックの形成上、小野町は田村市と地域ブロックを形成することを表現しているが、小野町と郡山市との流動が無くなるという意味ではない。
委員 （行政）	・郡山都市圏の都市構造を考える上で、母体となる郡山市があり、小野町は時間や距離の面から郡山市との関係が深いので、郡山市との関連が無くなるような表現は納得できない。
事務局	・後ほど公共交通マスタープランの説明で触れるが、バス路線は現在の結びつきを表現している。
委員 （行政）	・バス路線は、利用状況等やむを得ないが、道路については郡山市の中田行政局の前後で差を付けてある。実態にそぐわないため、再検討をお願いしたい。
会長 （学識）	・国土全体や東北圏の中での福島県の位置づけや役割なども触れておくべき。最近では、高速道路の料金割引なども盛んに議論されている。都市圏として、広域ネットワークでの位置づけを整理すべき。

議事(2)協議事項（説明：福島県県中建設事務所企画調査課主任主査）

#### 1)都市交通マスタープラン素案について

質疑応答

委員	・道路マスタープランの素案について、小野郡山線は郡山都市圏の東西を結ぶ重要な
----	--

(行政)	路線であるが、途中で骨格幹線道路から幹線道路に位置づけが変わっている。全線を骨格幹線道路として検討して頂きたい。
会長 (学識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の説明では、道路についてランキングするとこのようになるということであって、今までの機能が軽視されるということではない。</li> <li>・マスタープランの考え方は、郡山都市圏としてそれぞれの地域に拠点をつくり、郡山から拠点への連絡を骨格幹線道路としている。</li> <li>・拠点を貫通してしまうと、その他の所でも同様の議論が出てくるのではないかと。</li> </ul>
委員 (行政)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア区分と実際的な交通ルートという考え方からすると、中田行政局のところで位置づけが変わっているが、全路線が骨格幹線道路に値すると思うので、再検討をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスタープラン素案は、道路の階層的な考え方に基づき設定を行っている。</li> <li>・位置づけ区分によって整備の優先度を示すものではない。</li> <li>・例えば天栄村から郡山市へのルートなども、同様の議論があるかもしれないため、幹事会等において再検討してみたい。</li> </ul>
委員 (行政)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通マスタープランにおいて、都市圏に3つの新駅が提案されている。</li> <li>・須賀川市では、新駅として須賀川南駅が位置づけられているが、須賀川駅の北側の調整区域境のところで、ニュータウン開発に取り組むなど複合的な地域づくりプロジェクト構想があり、新設の北駅を位置づけていきたいと考えている。</li> <li>・このエリアは市街化調整区域でもあり、課題もあるが、北駅についても検証を行い、位置づけを検討して頂きたい。</li> </ul>
会長 (学識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新駅設置に伴い、都市計画の変更なども考える予定か。</li> </ul>
委員 (行政)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の都市計画の枠組みの中でも、必要だと考えている。</li> <li>・北駅を目標に市街化区域を拡大してきた経緯もあり、連担したまちづくりを進めてきた経緯もある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の提案では、住民ニーズや人口配置などを踏まえ、3箇所の新駅を提案している。</li> <li>・今後、詳細な検討を加えてさらに精査する予定としており、その中で須賀川市の北駅についても検討したい。</li> </ul>
委員 (交通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の提案で、新駅が3箇所位置づけられている中で、住民ニーズが最も高い所として磐越西線の郡山駅・喜久田駅間がある。</li> <li>・今回提示の図面では、特定の場所が表現されているようだが、可能性として他の場所もあるのではないかと。例えば4号バイパスの西側なども候補と考えられる。</li> <li>・可能性を、今後広げられるような表現としておいてはどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の提案では、バスなど公共交通との結節も意識した表現としているが、場所は決定したものではない。</li> <li>・今後、JRを含む関係者と協議をしながら詳細について詰めていきたい。</li> </ul>
委員 (行政)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRさんにお尋ねしたいが、郡山30万都市において、郡山駅は西側からのアクセスばかりで東側からのアクセスが無いと言われている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保土谷化学工業の移転は難しいとすると、今の線路を工夫して駅前広場を作れるような可能性はあるか。ビックパレットのあたりから、線路を減らして空間を作るようなことができないか。</li> </ul>
委員 （交通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースがあるから駅前広場ができるというものではないと思う。道路との接続や連携なども考慮する必要がある。</li> <li>・東口の位置づけは大きな問題であり、これまではなかなか手を付けたくても付けられないでいた。</li> </ul>
委員 （学識）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の内容は、マスタープランとしてメニューがあげられている。これは、マスタープランとしては良いが、実現化方策が重要であり、全てはなかなかすぐにできない。パッケージとして戦略化することが重要である。</li> <li>・例えば、公共交通システムのパッケージというようなものが考えられないか。駅に行くには公共交通で行く方が早いというような、公共交通利用促進を図る施策をパッケージとして、提案して頂きたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実現化方策の中で十分検討したい。</li> <li>・単一として効果が発揮し得ないものがあったとしても、組み合わせることにより効果が期待できる。実現化方策のなかで位置づけていきたい。</li> </ul>
会長 （学識）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域公共交通の図の意味がわかりにくく、凡例との関係を整理する必要がある。</li> <li>・あぶくま高原道路は、将来も公共交通が使うことがないということを示しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例等のわかりにくさを含めて検討したい。</li> </ul>
会長 （学識）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通のマスタープランの中で、「交通モード間で乗り換えしやすい結節機能やダイヤ改善」とあるが、もう少し具体的なイメージを添えてはどうか。</li> <li>・バスやパーク＆ライドなどを含めて、模式図で良いのでイメージがしやすいようなアイデアを表現してほしい。</li> <li>・自転車・歩行者マスタープランの中で、さくら通りが自転車・歩行者の主軸とあるが、高校生は見かけるがその他の多くの人は駅から市役所までというのは地形の高低差からみて難しいのではないかと。低床式のバスを走らせるなどの方が良いのではないかと。</li> <li>・薄い紫色のネットワークは、自転車・歩行者ネットワークを示しているということが良いのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の軸については、PT 調査でのトリップ特性を見ると、3 km以内の自転車の利用が多い。</li> <li>・さくら通りは、自転車・歩行者の多様な流動があり、また発生集中となる施設やバス停も多い。</li> <li>・地形的にふさわしいかどうか、利用の実態を踏まえ再度検討を加えたい。</li> <li>・薄い紫色のネットワークは、自転車・歩行者自体のネットワークとして提案している。</li> </ul>
委員 （行政）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速バスは、仙台や新潟、東京方面は分かるが、百里飛行場へ維持強化を図る表記となっているが、必要性があるのかどうか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市構造については、ブロックというものに過度にこだわり過ぎることもどうかと考える。小野町と郡山市の繋がりを考えないといけない。田村ブロックという形でひとまとめにするのはどうなのだろうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の空港を表現しているが、表現の仕方を含め検討したい。</li> <li>・都市構造は、将来の理念を踏まえブロックという考え方を原則的に詰めてきた。実態との関係等、今後検討したい。</li> </ul>
会長 (学識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内に雇用機会を確保し、交通量をいかに抑制するかは都市政策として今後最も重要な視点の一つである。</li> <li>・また、環境面からもトリップを短くすることが重要。その地域単位は、ここで示すブロック単位が良いか、県が示す7つの圏域が良いかなどあるが、いずれにしても課題だと考えられる。</li> <li>・今後、自立的な地域社会をつくっていかないと、絵に描いた餅になってしまうわけで、このような方向は目指さなければいけないことも理解頂きたい。</li> <li>・従来の考え方から、一步踏みだして物事を考える必要がある。</li> </ul>
<p>議事(2)協議事項(説明：福島県県中建設事務所企画調査課主任主査)</p> <p>2)都市交通マスタープラン策定までのスケジュールについて</p> <p>質疑応答</p>	
	意見、質疑無し

- 以上 -